

丹波さんへの医療費カンパ 呼びかけ

荊冠の主を賛美します。

丹波二三夫さんが、2017年1月19日(木)に脳梗塞のため、東京女子医科大学病院に緊急入院されました。入院当初は肺炎も発症し危険な状態が続いていましたが、2月3日にICU(集中治療室)から一般病棟へ移る事が出来ました。その後は板橋のT病院へ転院され現在も治療を続けておられます。

1月19日(木)、狭山事件の再審を訴える「高裁前アピール行動」と日本基督教団第40総会定期総会で決議された「狭山事件の即時再審開始を求める要望書」を石橋秀雄総会議長、道家紀一総幹事事務取扱、東谷誠部落解放センター運営委員長ほか多くの日本基督教団関係者と一緒に東京高裁へ提出する日でもありました。そこへ丹波さんも参加される予定でしたが、緊急入院はその途上での出来事です。ご家族のお話では、前夜から息苦しいと言われ夕食もせずに寝ておられたそうです。

ご存知のように丹波さんは、長い間教団の職員として部落解放センター・同宗連を担当してきました。教団退職後もその活動を続けてきました。私たちは、再び丹波さんが元気になり、私たちの活動に参加できる日を願いその病床生活を支えるためにカンパ(医療費：高額な費用が予想される)を呼びかけます。今回、教団部落解放センター運営委員会(2月13～14日)の席上で、丹波さんへのカンパの呼びかけがあり、教団部落解放センターが窓口になり下記の皆さまと共に呼びかけることになりました。様々な活動や支援に余裕のない時と思いますが、何卒ご支援を頂けますよう心からお願いします。

1次締め切りを3月24日

2次締め切りを8月頃と考えています。

呼びかけ人

石橋秀雄(日本基督教団総会議長)、秋山徹(関東教区議長)、指方周平(東所沢教会)、東谷誠(部落解放センター運営委員長)

秋永好晴、泉十次、井殿準、井上勇一、市川真紀、江戸清、老田信、岡本拓也、亀岡頭、栗原宏介、後藤慧、後藤龍男、小林明、小柳伸頭、斎藤成二、笹井健匡、佐藤幹雄、塩見和樹、関雅人、高橋真軌、谷本一広、鳥井新平、成田信義、畠山保男、原誠、日原年和、平井克也、福田鳥巢、藤原仰、水野松男、宮田誉夫、村上宏、森口あおい、安田耕一、山本光一、山本安生、(敬称略)

2017年2月24日現在

カンパ先：

郵便振替「日本基督教団部落解放センター」00950-6-302047

☆用紙へ必ず「丹波さん支援」と書いてください。

連絡：部落解放センター 〒574-0073 大東市緑ヶ丘2-16-14

TEL072-875-8470 Fax072-875-8471 メール：blc@nyc.odn.ne.jp